

このページは、**直接入力**はできません。そのまま見せるか印刷(いんそく)して使(つか)ってね!!

## おもしろ国語 ③1

「漢字は嫌(いや)だな。だってたくさん書かないといけないから。」  
でも、本当にそうでしょうか。漢字の覚え方は、人それぞれです。正しく書いたり使えたりすることが大切です。書いて覚えることが得意ではない子もいます。次のような覚え方をお勧め(すす)めています。参考(さんこう)にしてみてください。

① 覚えたい漢字をよく見る。  
おぼ

② 自分が間違えそうな所(まちが) (最大三か



所ぐらい)を赤で丸を付ける。

③ 三回だけ書いて覚える。



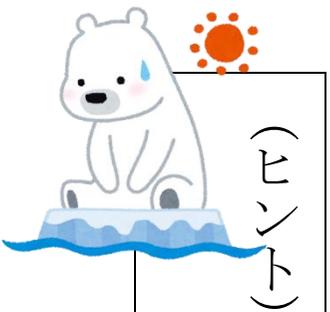
④ 覚えた漢字をかくし、見ないで一度だけ書く。

⑤ 正しく書ければ大丈夫(だいじょうぶ)。  
間違えたら、もう一度正しい漢字を書きましよう。見ないで正しく書ければ次の漢字の練習をしましよう。

少し前までは、「漢字ドリルを三回やりましょう。」など、漢字を書く回数にこだわることがありました。書いて覚えることも大切ですが、覚え方は、それが全てではありません。自分に合った覚え方を工夫してみましょう。

次のように部分に分けてクイズのように楽しむのも時にはいいですよ。

- ① 動くときに力をぬくとどうなるでしょう。
- ② 水に古い月がうつっているのはどこでしょう。
- ③ 水に点がつくと何になるでしょう。
- ④ 大きな口が四つ、なんという字でしょう。
- ⑤ 糸を合わせた食事って何でしょう。
- ⑥ 矢がつきぬけてしまいました。どうなるでしょう。
- ⑦ 根っこから木をぬいて目をつけるとどんな字になるでしょう。
- ⑧ 井戸の周りに四角い堀へいを作りました。何という字になるでしょう。



(ヒント)

湖 器 重くなる 眼  
給食 罎 失う 氷

答え①重くなる②湖③水④器⑤給食⑥失う⑦眼⑧罎